

2020年4月1日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

## 2020年度入社定期採用新入社員社長訓示(要約版)

当社は、社会の発展を支える素材を提供する会社として、確固たる事業基盤を築くとともに、更なる成長を目指して世界で事業を展開している。

昨年2月に発表した18中計は、「世界の非鉄リーダーを目指して～新たな成長への挑戦～」を掲げ、10年・15年先の中長期的な視点で持続的に成長すべく、かつてない規模で経営資源を投入する「攻め」の計画を打ち出した。今年3月には「世界の非鉄リーダー」を実現するための2030年時点でのマイルストーンとして、「2030年のありたい姿」を発表した。持続可能な社会形成を実現するため、当社が取り組むべき重要課題を明確にし、その解決へのアプローチを明らかにした。

一方、昨年はJCO 臨界事故から20年の節目だった。この事故は当社経営のターニングポイントであり、事故の教訓は経営判断の重要な基準となっている。我々は事故の反省と教訓を胸に刻み、この20年間を駆け抜けてきた。今後も決して風化させてはならない。

「2030年のありたい姿」や18中計の実現には、変化への対応が要となるが、過去の教訓を基に将来を見据えることが基本だ。皆さんにも周囲の変化を敏感に感じ、その変化が当社の経営や事業にどう影響するかを想像し、あるべき姿を深く考えるなど、日々努力してほしい。

当社社員として大切な3つの心構えについて。

### 1. 「現場に学ぶ」

ものづくりの原点は常に現場にある。技術や技能、企業文化や風土は現場で自ら体験して初めて実感し理解できるものだ。現場に足を運び、自らの五感で吸収したことが己の拠り所となり、現場の仕事にチャレンジし、失敗も含め経験を積むことで、将来の土台が築かれる。

### 2. 「変化を恐れず、好奇心を持ってスピーディーに」

「外部変化に組織の内部変化がついていけなくなったとき、終わりはすぐそこに来ている」という著名な経営者の言葉があるが、個人も同じだ。多種多様な価値観の許容は時流であり、多様な個性、意見をぶつけることでイノベーションが生まれ、自己変革できる。そのためには好奇心やスピード感が必要となる。

仕事に絶対の正解はない。正しいと信じる選択をし、目の前の課題から逃げず、1つ1つ真摯に向き合って自分自身を高めてほしい。

### 3. 「種を蒔け」

私たちは蒔いたものしか刈取ることができない。自らチャレンジし経験したことが将来の皆さんを形づくる。自分の未来につながる何かに取り組むこと。ただし何を蒔くかは、自らが選び、決断、実践するしかない。当社の体系的な研修カリキュラムは、あくまでも学びのきっかけだ。将来、事業運営を担っていく皆さんには、常に自ら考え、行動する意識と力を身につけてほしい。

1590年に創業した住友グループの源流事業を引き継ぎ、430年に亘る当社の歴史は、決して平坦ではなく、幾度もあった存亡の危機を先人たちが知識や技術を結集し克服し、弛まぬ努力の結果築きあげられたものである。

縁あって入社した皆さんには、長い歴史を考え、確固たる経営理念を持ち、さらに成長を目指す当社で働くことの誇りを持っていただきたい。社会環境の変化が加速していく中、これから当社が直面する課題は、これまで経験したことのない、複雑に入り組んだ課題である。だからこそ若い皆さんの柔軟かつフレッシュな発想や行動力が必要で、大いに期待している。解決すべき課題はたくさんあるが、自由闊達に意見をぶつけ合い、存分にその力を発揮してほしい。

最後に、住友グループには「報恩感謝」という言葉がある。皆さんが今日、入社の日を迎えられたのは、これまでご家族をはじめとする方々が支えてくれたおかげだ。今後も感謝の気持ちを忘れずに、社会人として、一人の人間として大きく羽ばたき成長することを心から願っている。

以上

(ご参考) 本年度総合職社員入社人数：事務系12名、技術系20名、計32名

なお、入社式は実施せず、入社歓迎式として10月に実施いたします。